

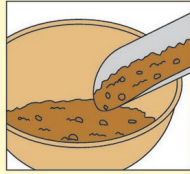
コンテナガーデンの ための 道具

●材質/本体:スチール製
(クロームメッキ仕上げ)
 桂:ステンレススチール製
 ハンドル:ブナ材

道具をうまく使いこなして、鉢をきれいに仕上げましょう。

1 土をたくさん すくえる 土入れ

コンテナ等に土を入れる際、土がたくさんすくえて便利です。



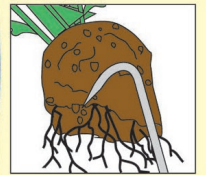
2 容器から苗を 取出す 植替用ヘラ (小:ポリポット用) (大:一般用)

容器と土の間に差し込みぐるりと回すと、根を傷めず容器から苗を取り出せます。苗床から苗を掘り上げる時にも使用します。



3 根の手入れに 根かき

苗を植え付ける前に、大切な根を傷めずにほぐすための道具です。



小ぶり
で
使いやすい
設計



女性の手に合わせた、
スリムで握りやすい
ハンドル



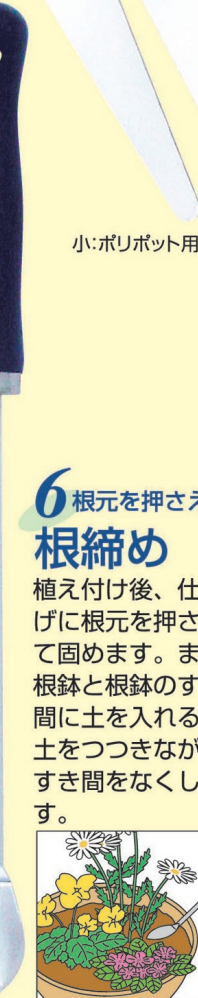
4 植え込みに ミニスコップ

植えた苗の回りに少しずつ土を入れたい、苗を掘り上げる時に使用します。



5 土を平らにならす 土ならし

植え付け後、土を平らにならします。また、小さな雑草等をかき取る時にも使用します。



小:ポリポット用

大:一般用

6 根元を押さえる 根締め

植え付け後、仕上げに根元を押さえて固めます。また、根鉢と根鉢のすき間に土を入れる時、土をつつきながらすき間をなくします。



7 外敵から守る ピンセット

害虫を取り除いたり、雑草を抜いたりコンテナガーデンには欠かせない道具です。



販促用にPOPを用意致しました。

エンドユーザーが分かりやすいように寄せ植えの手順に合わせて、道具の使い方を紹介しています。

寄せ植えの手順と上手な道具の使い方

1 土を入れる
土の固さや量をあらかじめ鉢底ネットを敷き、水受けをよけるために軽石やゴロ土を鉢底の1/3程度入れます。次にたっぷりの量で培養土を鉢底から寄せ植え鉢の2/3程度まで入れます。

2 レイアウトを決める
だいたいのレイアウトを決めるため、苗を鉢から出して、鉢に置いてみましょう。この際、正面から見ていくと、どのようになっているかを確認し、必要に応じて調整を行います。

3 根の手入れ
新しいのに、新しい土を多く含むため、古い土を軽くすくって取り除きます。

4 植え込み
先に決めたレイアウトに沿って、苗の根元が鉢底に届く程度に土を入れます。この際、苗を揺らすことで根を伸ばしやすくします。

5 土を詰め、平らにならす
土が固まらないうちに、すくって取り除いた古い土を新しい土と混ぜ合わせ、苗の根元をしっかりと押さえます。その後、鉢の表面を軽くすくって平らにならします。

6 根元を押さえる
水やりの際、土の中で根が動くのを防ぐために、根元をしっかりと押さえます。また、根鉢と根鉢のすき間に土を入れる時、土をつつきながらすき間をなくします。

7 外敵から守る
コンテナガーデンには、害虫や雑草が繁殖しやすい環境です。ピンセットは、害虫を取り除いたり、雑草を抜いたりするために欠かせない道具です。

品番	品名	JANコード
CG-1	土入れ	472014
CG-2	植替用ヘラ(小)	472021
CG-3	植替用ヘラ(大)	472038
CG-4	根かき	472045
CG-5	ミニスコップ	472052
CG-6	土ならし	472069
CG-7	根締め	472076
CG-8	ピンセット(ステンレス製)	472083

注: JANコードは、メーカーコード(4991524)を省き下6桁を記載しています。